

# 2023年

# 安全報告書



■ 山形県月山スキー場  
特殊索道 月山ペアリフト

■ 山形県西川町民スキー場  
特殊索道 西川町民スキー場リフト

## 月山観光開発株式会社

## 1. ご利用者の皆様へ

山形県月山スキー場及び西川町民スキー場をご愛顧賜りまして、誠に有難うございます。

2022年度は、新型コロナウイルス第7波、第8波と続き、更には2月、ロシアのウクライナ侵攻と予期せぬ出来事が発生し、世界の不安定要素によるエネルギー資源の高騰で、各食料品、電気料金、ガソリン・灯油等の大幅な値上げは各家庭を直撃しているところでもあります。

弊社、月山リフトは4月10日、無事開業する事ができましたが、営業2日目にパトロール隊長が危険個所のマーキング中、クレバスに落下する死亡事故が起きてしまいました。それを受け、4月～6月のスキー期は大斜面コースを閉鎖しスキーヤー・ボーダーの安全確保を図りましたが、収入は大幅に落ち込みました。また、7月にはTバーリフト従業員が左手を負傷するという労災事故が発生し、Tバーリフトも終了と致しました。夏期、紅葉期は例年並にお客様は来ていただきましたが、スキー期の減少が響き、収入、人員とも大幅減となり現に厳しい結果となりました。

なお、西川町民スキー場については12月から3月までの主にナイター営業をしているスキー場ですが、2022年度は管理センター内で間沢食堂を開業し、リフト共々西川町内外のスキーヤー、ボーダー、また一般の方々にも大変好評を得ているところでございます。

「2023年 安全報告書」は、2022年1月より同年12月までの1年間の輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともにさらに広くご理解いただくために公表するものであります。皆様からの「お声」を安全輸送に役立てたく、ご意見・ご要望等を頂戴できれば幸いです。

月山観光開発株式会社  
代表取締役社長 阿部和典

## 2. 基本方針と安全日標

### (1)基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下全従業員に周知・徹底しております。

- ① 一致団結して、輸送の安全の確保に努めます。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともに、これを遵守し厳正・忠実に職務を遂行します。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- ④ 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、質疑のある時は最も安全と思われる取扱いを行います。
- ⑤ 事故・災害等が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置を行います。
- ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝えます。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦するよう努めます。

### (2)安全日標

安全日標は、次のとおりであります。目標達成に向け、安全確保を最優先事項として業務に取り組んでおります。

- ① 安全第一を旨とすること。
- ② 誠心誠意でサービス。
- ③ 明るい職場を創ること。
- ④ 健康管理に留意すること。

## 3. 2021年度事故等の発生状況

### (1)索道運転事故（索道人身障害事故）

2022年度の索道運転事故はなく、今後も継続して事故防上に努めます。

### (2)災害（地震、暴風雨、豪雪等）

2022年度の災害による運転停止は、安全確保のため強風・雷等の発生時に運転を見合わせた時間は下記のとおりです。

月山リフト 終日運休日数 7日

延べ運休時間 84時間10分（一部時間運休含む）

### (3)インシデント(事故の兆候)

2022年度のインシデントはありませんでした。今後も継続して安全への取り組みを強化し、事故防止に努めます。

### (4)その他

運転事故、インシデントはありませんでしたが、冒頭で述べたようにパトロール隊長の死亡事故及びTバーリフトでの労災事故が発生いたしました。安全管理を徹底すべく組織改革を含め再発防止策を検討いたします。

#### 4. 輸送の安全確保のための取組み

##### (1) 人材教育

社外教育として、東北索道協会等の講習に積極的に参加し、索道技術の習得及び向上に努めております。

##### (社外教育)

① 山形地区部会技術研修会	2022年7月7日	1名受講
② 東北運輸局技術管理者研修	テキストによる自主研修	2名受講
③ 山形地区部会雪上車運転講習会	2022年12月1日～2日	3名受講

##### (社内教育)

① 安全管理規程、運転細則読合せ	2022年12月21日	5名参加
------------------	-------------	------

##### (2) 緊急時対応救助訓練

毎年、非常時を想定し救助訓練を実施しております。

① 月山ペアリフト救助訓練・予備原動取扱訓練	2022年4月16日	12名参加
② 西川町民スキー場リフト救助訓練	2022年12月21日	7名参加



【月山ペアリフト救助訓練】



【月山ペアリフト予備原動訓練】



【西川町民スキー場リフト救助訓練】



【安全管理規程、運転細則読合せ】

### (3)安全のための諸施策

当社では、安全確保及び設備の保全を目的に、毎年整備計画を立て実施しております。2022年度に実施した（計画外含み）各設備の主な整備は下記のとおりです。

#### (月山ペアリフト)

- 4月 ①電話機用バッテリーパック交換
- 6月 ②シーケンサー一部交換（外注：日本ケーブル）  
③20号柱放送用スピーカー交換
- 8月 ④上駅運転予鈴スピーカー及び音声合成ユニット交換（外注：日本ケーブル）
- 9月 ⑤支柱ヒーターユニット交換（3,6新）（9,11中古）
- 10月 ⑥線路監視カメラ更新工事（外注：山形三菱電機）  
⑦リフト各機器の振動検査（外注：日本ケーブル）  
⑧受索装置解体検査（9号、13号）（外注：日本ケーブル）  
⑨握索機タンク不良箇所交換（30台、33箇所）

#### (西川町民スキー場リフト)

- 3月 ①始動用電磁接触器（MCA）及び始動用押釦スイッチ交換
- 9月 ②リフト通信ケーブル修繕

## 5. 当社の安全管理体制

当社では、社長を輸送の安全確保に関する最終的な責任者として、安全統括管理者、索道技術管理者及び索道技術管理員を配置し、役割と責任及び権限を明確にした管理体制のもと行っております。

- 社長：輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う。
- 安全統括管理者：索道事業の輸送確保に関する業務を統括する。
- 索道技術管理者：安全統括管理者の指揮のもと、索道の運行管理、索道施設の保守管理その他の技術上の事項に関する業務を統括する。
- 索道技術管理員：索道技術管理者の指揮のもと、索道技術管理者の行う業務を補助する。

(安全管理体制組織図をご参照下さい)

## 6. ご利用の皆様へ

当社では、お客様から信頼され、安全で快適なリフトの運転を心がけ事故防止に努めておりますが、お客様の不用意な行動から事故を誘発させることがありますので、次の事項を守り係員の案内及び支持に従って下さい。

- (1) 乗降に不慣れなお客様は、係員にお申しつけ下さい。
- (2) 横向き乗車及び椅子振る行動は危険ですので、絶対しないで下さい。
- (3) 途中での飛び降りは危険ですので、絶対しないで下さい。
- (4) 万ーリフトが停止したとき。係員の指示があるまでそのままお待ち下さい。

## 7. 連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見、ご要望などお気付きの点がありましたら、下記へご連絡下さいますようお願い申し上げます。

〒990-0703 山形県西村山郡西川町大字間沢 59

月山観光開発株式会社

☐TEL : 0237-74-2218      ☐fax : 0237-74-2804

☐e-mail : gassankk@atlas.plala.or.jp

☐HP : <https://www.gassankk.co.jp>

〒990-0734 山形県西村山郡西川町志津姥沢

月山ペアリフト（索道事業部）

☐TEL : 0237-75-2025

〒990-0703 山形県西村山郡西川町間沢 872-3

西川町民スキー場リフト（索道事業部）

☐TEL : 0237-74-4055

# 月山観光開発株式会社

## 安全管理体制組織図

